



仁淀病院からのお知らせ



リハビリテーションの 連携について

仁淀病院 主任理学療法士 藤本 雄治

リハビリテーションには理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の3種類の専門職がいます。

それぞれの専門職員がどのような役割を担い、どのような部署でどのような活動をしているのかを紹介しします。

人員配置箇所は、仁淀病院、仁淀清流苑、訪問看護ステーションの3カ所となっています。

同じリハビリテーションでも、それぞれの部署の役割は多少異なります。

病院では、急性期～回復期の治療的な訓練を実施しています。

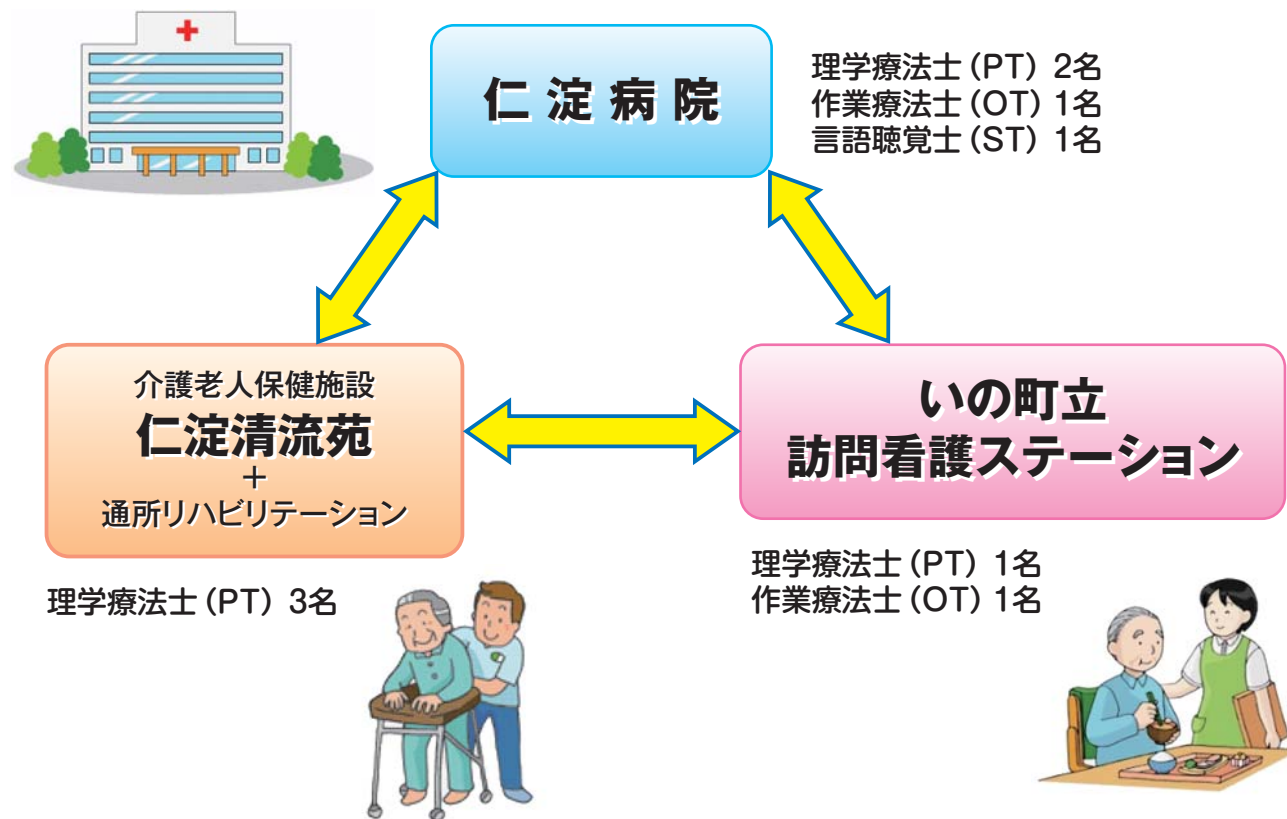
清流苑では、維持期・慢性期の生活適応訓練(生活リハビリ)を実施しています。

訪問看護ステーションでは、維持・慢性期(～終末期)の個人の生活環境にあった生活活動訓練や介護方法の指導、地域や社会活動への参加のアドバイス、

その方の身体機能にあった住環境等の整備指導(安楽な姿勢保持等に対する指導や福祉用具の選択)等を行っています。

仁淀病院の患者さんは、病院から在宅へそのまま退院されたり、退院時の心身の状態から主にご家族の受け入れや介護に不安があるために、病院から清流苑経由で在宅へ退院される方もあります。

また、逆の流れとしては、清流苑へ入所されていた方や、訪問リハビリを受けられていた方が、入院治療が必要となり、病院でのリハビリの後に清流苑や在宅へ退院されています。そのため、仁淀病院の事業のリハビリテーションすべての部署が、1人の患者さんや、利用者に対して、単独でアプローチするのではなく、各々が関わるリハビリテーションの専門職員が患者さんが在宅等へ復帰するまでの過程で、情報を交換し、連続して有機的に関わっています。



★理学療法、作業療法、言語療法を受けるには、医師の処方箋が必要です。
かかりつけの医師にご相談いただくか下記までお気軽にご相談ください。

<問い合わせ> 仁淀病院 ☎ 893-1551